

令和7年度業務改善に係る状況調査の結果について

1 調査目的

令和6年3月に改訂した「教職員の業務改善のための取組」に係る各学校の取組状況を把握し、より実効的な取組の推進を図る。

2 調査期間

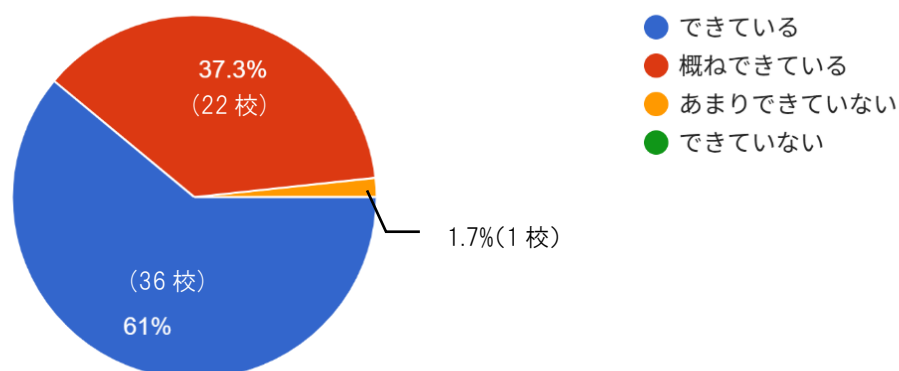
令和7年12月19日（金）～令和8年1月16日（金）

3 調査対象

各市立幼稚園(1)・小学校(38)・中学校(18)・義務教育学校(1)・高等学校(1)
計59校（園）

4 調査内容・結果

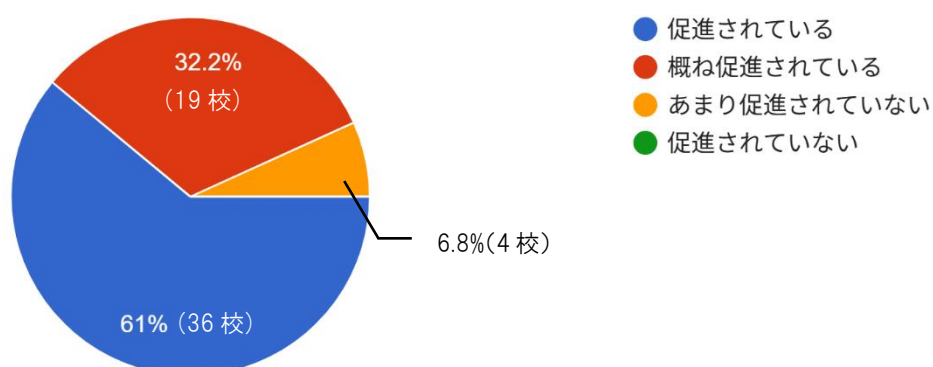
(1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）において、学校における働き方改革の取組を発信するなど、保護者や地域住民等の理解促進を図っていますか。



(2) 「あまりできていない」「できていない」を選択した理由を記入してください。

- ・地域の教育力（人材・教育資源）を積極的に取り入れることで教育の質的向上と教員の負担軽減を両輪で進める計画だが、現在は学校運営協議会委員への説明に止まっているため。

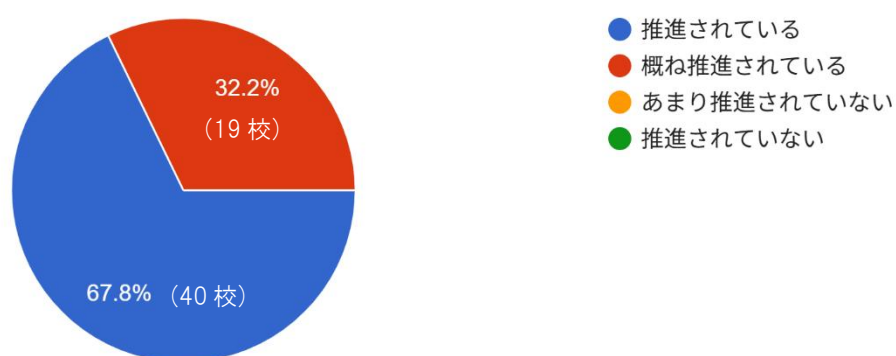
(3) 定時退勤日の設定など、定時退勤の取組が促進されていますか。



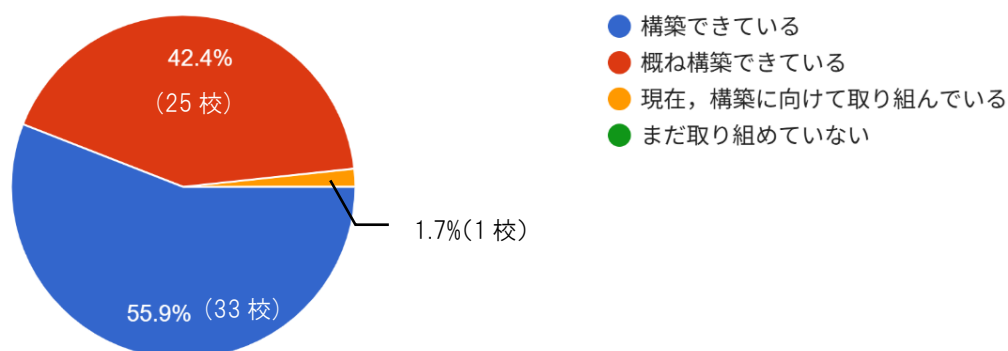
(4) 「あまり促進されていない」「促進されていない」を選択した理由を記入してください。

- ・ 兼務者が出勤できない曜日の分の業務を出勤した曜日で行っているので、定時退勤を呼び掛けてもなかなかそのようにはならない。
- ・ 定時退勤日の設定が無く、着任してから急遽作った状態だった。定期的の実施できていない。
- ・ 定時退勤日の設定や働き方改革の取組など、学校全体で組織的に進めており、全体的に見て時間外勤務時間は確実に減ってきているが、「定時退勤」までには至っていない。
- ・ 一斉での定時退勤はあまり進んでいないが、それぞれの都合にあわせて、早めに退勤する日を設定している。

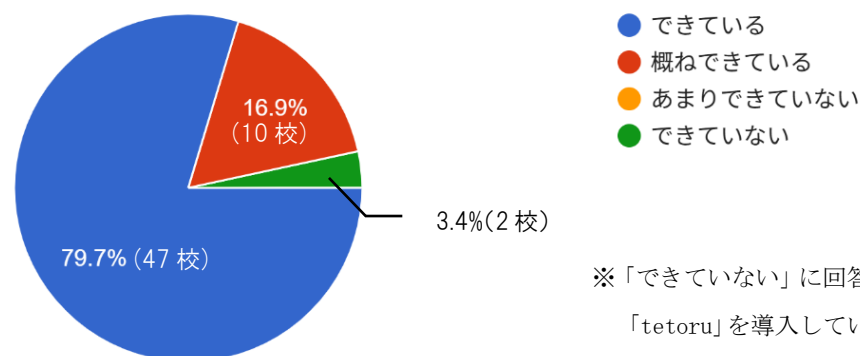
(5) 業務改善の取組や効果について、定期的な周知、情報共有を行うなど、働き方改革の意識を高める取組が推進されていますか。



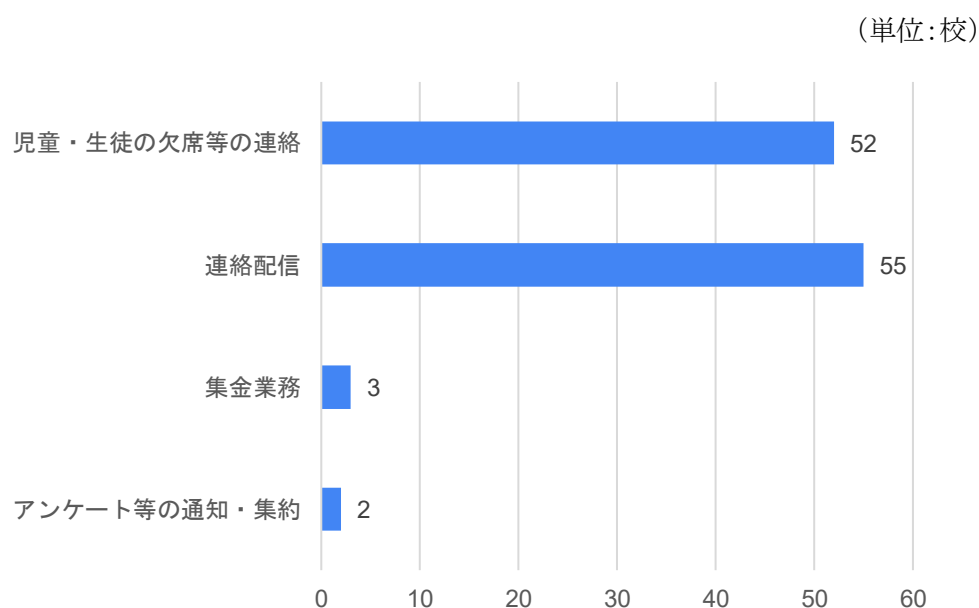
(6) 学校組織内において、学年間を超えたコミュニケーションが可能となるようなチーム編成を配慮するなど、一人の教員が悩みを抱え込まないような体制が構築できていますか。



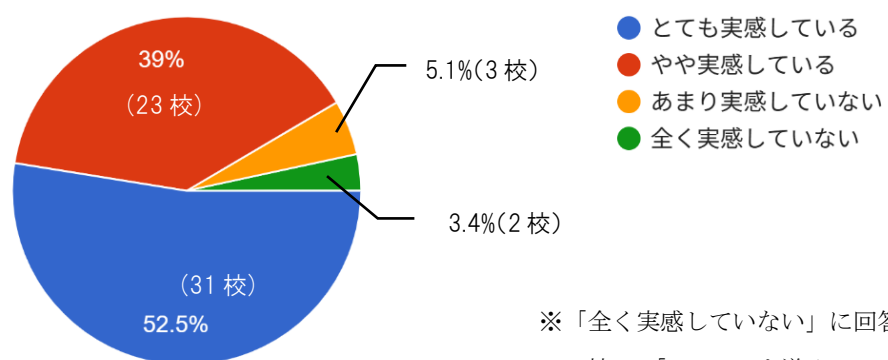
(7) 「tetoru」を積極的に活用できていますか。



(8) 「できている」「概ねできている」を選択した場合、どのように活用しているか、あてはまるものを選択してください。(複数回答可)



(9) 「tetoru」の活用により、業務縮減を実感していますか。



※「全く実感していない」に回答した
2校は、「tetoru」を導入していない
幼稚園、高等学校による回答